

WEB会議を活用した

令和3年度 球磨川水系水防災意識社会再構築会議を開催！

平成27年9月関東・東北豪雨による水害を踏まえ国土交通省が提起した「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、平成28年6月に流域の市町村長等を委員とした「球磨川水系水防災意識社会再構築会議」を設置し、同年8月に「球磨川流域の減災に係る取組方針」を策定しました。

球磨川流域では、水防連絡会・洪水予報連絡会と合同で開催し、「出水期に備える球磨川流域連絡会議」として出水期前の防災を担当する関係者により情報共有を行いました。

日時：令和3年5月19日（水）15:00～16:30

場所：WEB会議（各会場）



出水期に備える球磨川流域連絡会議

（議事要旨）

- 令和3年度の気象概況に関する説明を行い、気象に関する情報を共有しました。
- 洪水予報の運用変更やの観測機器の復旧状況等水防災に関する情報を共有しました。
- 規約について、これまで取り組んできた、「避難・水防対策」については、令和3年度から「球磨川流域治水プロジェクト」の一つとして位置づけられる河川整備等のハード対策は、流域治水プロジェクトの中の河川対策の検討のほうで取り組むことを踏まえた記載内容の変更について了承いただきました。
- 取組内容については、令和2年7月豪雨を踏まえた「令和7年までに完了することを目標とした新たな取組方針」について了承いただきました。

この会議をふまえ、球磨川流域の関係機関で連携して出水期に備えます。

[問合せ先]

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 調査課
〒866-0831 八代市萩原町1丁目708-2、電話0965-32-4135

（挨拶：人吉市長【球磨川水系水防災意識社会再構築会議 会長】）



- 昨年大きな被害を受け、まだ復旧、復興の道半ばである。それに加え今回の出水期ということで、早め早めに、我々も避難行動をとる必要があると思っている。
- 本日は参加者間で情報共有させて頂いて、一人の死傷者も出さないという覚悟を皆様と持ちながら、梅雨時期をしっかりと乗り切っ行ってきたいと思う。

令和3年度 出水期までの取組内容（概要）

- LINEでの防災情報の発信、チャット機能を活用した職員間の情報共有や伝達を実施。
- 防災行政無線機能強化のため、全世帯への配布着手及び屋外拡声子局を増設。
- 町職員と防災関係機関参加のもと、顔の見える関係を築く目的で危機管理懇談会、豪雨対応訓練（図上訓練）を実施。
- コロナ禍を考慮し、自主防災組織と連携した避難所開設訓練を実施。
- 球磨川L2、土石流危険箇所、R2.7豪雨浸水箇所等を反映した防災マップを全世帯に配布。
- 避難所を見直し、災害想定浸水区域を反映した総合防災マップを全世帯に配布。
- 登録防災士の募集を実施。
- 防災無線に代わる新たな情報発信システムの検討。（通信システム、SNSの活用）
- 熊本マイタイムラインの普及。

etc